

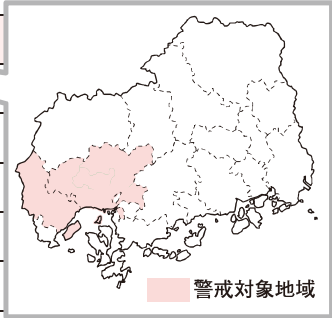
# 4 被災状況と災害対応

## 4.1 被災状況

局地的豪雨に伴い、広島市安佐南区、安佐北区では、避難勧告が発令され、人的被害、住家被害の他、学校や県が所有している施設等にも多くの被害が発生した。

### 気象注意報等の発表状況

日 時	内 容
8/19(火)	16:03 大雨・洪水注意報発表(雷注意報継続)
	21:26 大雨・洪水警報発表(雷注意報継続)
	23:33 洪水警報解除(大雨警報、雷注意報継続)
8/20(水)	00:57 洪水注意報発表(大雨警報、雷注意報継続)
	01:15 <b>土砂災害警戒情報 第1号 発表</b>
	01:21 洪水警報発表(大雨警報、雷注意報継続)
	16:20 洪水注意報発表(大雨警報、雷注意報継続)
	18:30 土砂災害警戒情報解除(大雨警報、洪水・雷注意報継続)
	22:39 雷注意報解除(大雨警報、洪水注意報継続)
8/21(木)	04:05 大雨警報解除(大雨注意報発表、洪水注意報継続)
	10:20 雷注意報発表(大雨注意報・洪水注意報継続)
8/22(金)	05:02 大雨警報発表(雷注意報・洪水注意報継続)
	16:07 大雨警報解除(大雨注意報発表、雷注意報・洪水注意報継続)
	17:45 雷注意報・洪水注意報解除(大雨注意報継続)
8/23(土)	04:50 雷注意報発表(大雨注意報継続)
	20:13 大雨・雷注意報解除(警報・注意報発表なし)



### 人的被害

単位:人

地区名	人的被害			
	死亡	行方不明	負傷者	
			重傷	軽傷
広島市安佐南区	68	—	37	16
広島市安佐北区	6	—	9	6
災害関連死	3	—	—	—
計	77	0	46	22

出典:8月19日からの大雨等による広島県における被害状況及び消防の活動等について(第47報:H28.6.24) 消防庁応急対策室

### 物的被害

単位:棟

地区名	住宅被害					非住家被害	
	全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水	公共建物	その他
広島市安佐南区	145	122	106	796	2,278	1	271
広島市安佐北区	33	95	73	286	784	1	178
広島市西区	1	—	7	2	18	—	6
広島市中区	—	—	1	—	—	—	1
広島市東区	—	—	—	—	—	—	1
広島市安芸区	—	—	1	—	—	—	—
広島市佐伯区	—	—	1	—	—	—	—
安芸高田市	—	—	—	2	14	—	9
福山市	—	—	—	—	3	—	—
廿日市市	—	—	1	—	—	—	—
計	179	217	190	1,086	3,097	2	466

出典:8月19日からの大雨等による広島県における被害状況及び消防の活動等について(第47報:H28.6.24) 消防庁応急対策室

被災状況(安佐南区八木3丁目 県営緑丘住宅)



被災状況(安佐南区緑井7丁目)



被災状況(安佐北区可部東6丁目)



被災状況(安佐北区可部町)



「8月19日からの大雨による被害等について(第68報) H26.9.19 広島県災害対策本部」 情報提供

## 4.2 緊急点検

### 緊急現地調査

日常生活を支える道路の土砂・巨石等の除去や水路確保等の応急復旧対策を迅速かつ計画的に行うため、国(TEC-FORCE)、県、市の技術者で構成する緊急現地調査チームにより現地調査を実施した。

現地対策本部



現地調査状況



全国からのTEC-FORCE隊員へ  
安倍内閣総理大臣より激励(8月25日)



提供:中国地方整備局

太田国土交通大臣による現地視察

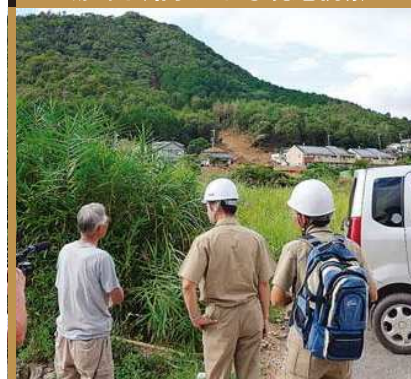


提供:中国地方整備局

古屋内閣府特命担当大臣(防災)  
による現地視察

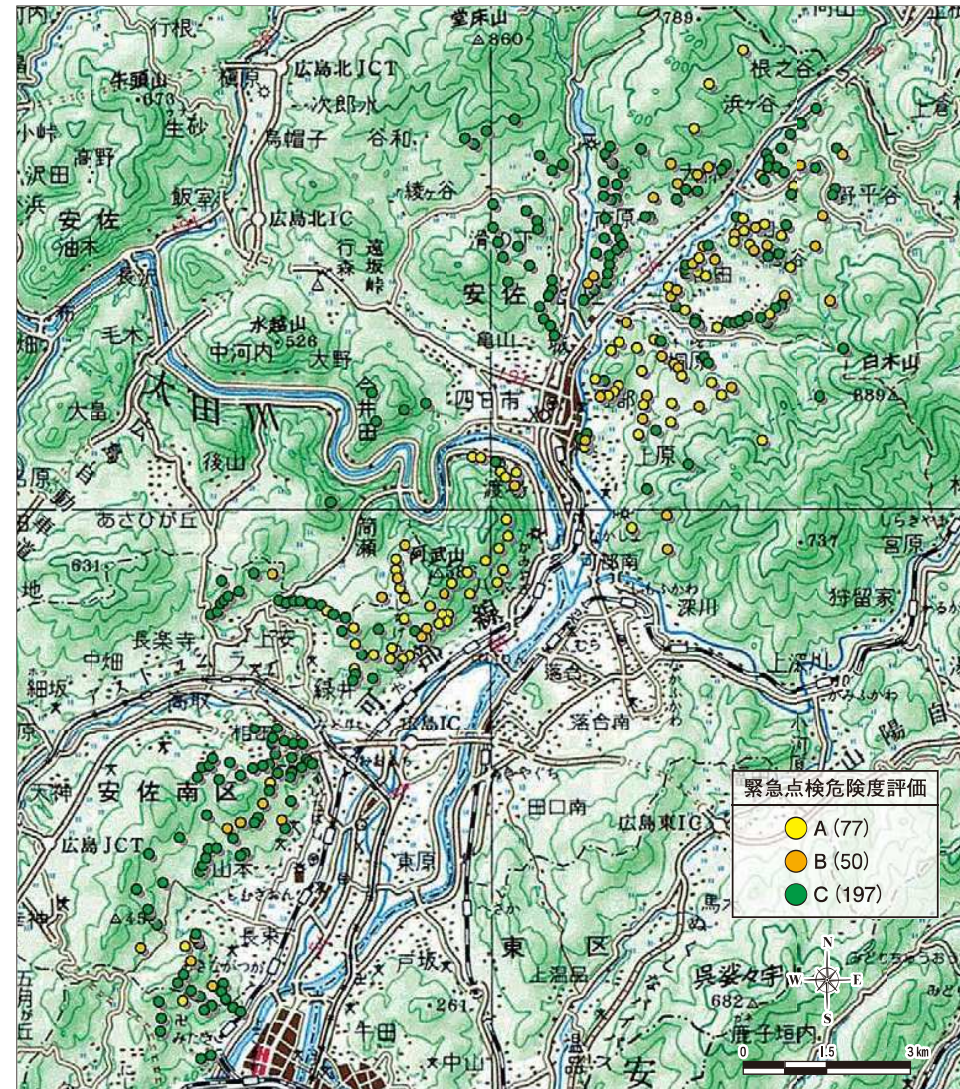


湯崎県知事による現地視察



### 緊急点検

8月20日~29日(1次点検)及び8月29日~9月2日(2次点検)にかけて、斜面・溪流の危険度を調査し、緊急溪流点検を行った。



この地図は、国土地理院発行の20万分1地勢図「広島」を使用したものである。

#### 調査体制

中国地方整備局、北陸地方整備局、中部地方整備局、四国地方整備局、九州地方整備局、国土技術政策総合研究所、独立行政法人土木研究所の各国土交通省緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の職員により実施。

#### 点検内容

土石流集中地域の溪流、土石流発生溪流及びその周辺の溪流について溪流内における土砂、流木の堆積状況、人家付近の斜面変状(崩壊発生等)、砂防施設の状況を調査した。

#### 点検結果

各溪流について点検結果、及び下記の目安に基づき、3段階評価で「危険度」を評価。

- A** 緊急避難体制を確保するとともに緊急的な対応が必要
- B** 当面は警戒避難体制を強化するものとし、状況確認の上で、必要に応じ対応が必要
- C** 特に変化はなく緊急度は低いが、降雨状況によっては注意するもの

危険度調査結果	地区	対象溪流	危険度評価A			危険度評価B			危険度評価C		
			1次	2次	計	1次	2次	計	1次	2次	計
安佐南区	緑井・八木地区	37	26		26	4		4	7		7
	山本地区	27	1		1	4		4	22		22
	毘沙門台地区	24		4	4		1	1		19	19
	武田山地区	35		1	1		3	3		31	31
安佐北区	大林地区	26	5		5	4		4	17		17
	可部・三入南地区	91	34	1	35	24	1	25	29	2	31
	安佐町筒瀬地区	12	4		4	2	1	3		5	5
	南原地区	58			0		5	5		53	53
西区	三滝地区	14		1	1		1	1		12	12
	計	324	70	7	77	38	12	50	75	122	197

「平成26年8月豪雨による広島市土石流発生溪流等の緊急点検結果(一次点検)について(H26.8.30)国土交通省中国地方整備局」情報提供  
「平成26年8月豪雨による広島市土石流発生溪流等の緊急点検結果(二次点検)について(H26.9.3)国土交通省中国地方整備局」情報提供

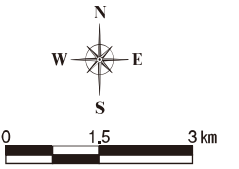
## 4.3 施設効果事例

局地的豪雨によって発生した土石流を砂防堰堤が捕捉し、下流への土砂の流出を軽減した。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平26中複、第41号)

- 凡例
- ※1 土石流(107渓流)
  - ※1 がけ崩れ(59箇所)

※1:土砂災害発生箇所数、土砂災害危険箇所で土砂災害が発生した箇所および土砂災害危険箇所以外で土砂災害により人的被害、人家被害等が発生した件数(広島県土木局砂防課調べ)



下の谷川砂防堰堤



桧山川砂防堰堤



山倉川砂防堰堤



登尾川砂防堰堤



玖谷川砂防堰堤



上原川(下流)砂防堰堤



上原川(上流)砂防堰堤



穴郷川砂防堰堤

被災状況と災害対応